



情報誌

スマイル

2023年度 冬号

小松市蓮代寺町に 173

TEL 46-6997

http://www.rendaiji-kodomoen.com



ホームページ QRコード



蓮代寺こども園の主な災害対策



安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。

① 避難訓練（毎月1回、火災・地震・風水害などの訓練を行っています）

毎月の訓練に加えて、年1回、消防署による立ち合いのもと、火災想定の実施し、避難の仕方を見ていただいたり、子どもたちに向けて火事での約束事などのお話をさせていただいたりしています。また、今年度初めて保護者の方の参加協力のもと、引き渡し訓練を実施しました。これからも様々な災害を想定して行ってきたいと思います。



おやつ最中に地震が…しっかり体を丸め頭と体を守ります



引き渡し者と引き渡しカードの記載が合っているか確かめてお渡します

② 災害備蓄品（園児が3日間園で過ごせる分の食品や飲料水を備えています）

9月1日の防災の日には、災害から身を守ることや万が一のため備蓄品を備えていることを子どもたちに伝えています。



小松市を通して大和善隣館各施設の備蓄用簡易トイレ計6000個を能登の被災地に支援物資として届けました。

白かゆ・カロリーメイト・使い捨て哺乳瓶・飲料水・ミルク缶・簡易トイレ・カセット式発電機（カセットボンベ）を備えています。

③ 防災マニュアル・BCP（業務継続計画）作成

小松市における自然災害発生時のガイドラインをもとに様々な災害対応をマニュアル化して整備しています。災害状況によっての対応については、園ホームページの「おしらせ」の「自然災害発生時対応について」からご覧いただけます。



④ 消防用設備点検と安全点検の実施

依頼業者による定期的な消防用設備点検の他に、職員が毎月1回、園内外に危険箇所や不具合がないかをチェックシートに記入し安全点検を行っています。また、防犯対策のため各保育室や部屋に監視カメラを設置してあります。

⑤ 関係機関との連携

被災状況によって小松市こども環境課や当法人本部と協議し、対応を図ります。また、蓮代寺町町内会と大規模地震、風水害、火災等が発生した時の相互の協力支援についての協定書を交わしています。



クマ対策も行っています

こども園では、クマ情報の収集に注力し、まずは安全第一に活動を行っています。散歩に出かける際には鈴を携帯したり、園庭で遊ぶ時には、クマを寄せ付けられない対策として大きな音で音楽を鳴らしたりしています。

地域にクマ出没の知らせを受けた場合には、連絡アプリにて保護者に速やかにお伝えし、登降園時には十分に気を付けていただくようお願いをしています。

新年の準備を子どもたちと一緒に



つきたてのお餅をじかに触ってみました

“あれー、くっついたー！”



今年も東山町の谷口正盛さんが門松を作るところを見せてくださいました。



こんなことしたよ♪お楽しみ発表会

ちゅうりっぷ組(2歳児)

絵本の読み聞かせを通して、保育者と簡単な言葉のやりとりやリズムを楽しんでいる子どもたち。発表会では言葉のやりとりの他、好きな生き物になって体の動きなどを自由に表現したり、でこぼこした積み木の上をバランスをとって移動したりする様子がかわいくてたくさんの拍手をもらいました。



表現遊び『たまごの赤ちゃん』

たんぼほ組(3歳児)

食育活動として、さつまいもの畝作りから収穫までを経験した子どもたち。その様子をごっこ遊びの中で再現しました。中でも友だちと「うんとこしょ」と芋づるを引っ張るところを面白がっていました。また、普段より子どもたちが楽しんでいる「だるまさんがころんだ」の遊びもしました。



ごっこ遊び「おおきなさつまいも」

ゆり組(4歳児)

毎年4歳児は、蓮代寺町に古くから伝わる「がめつき」を披露しています。友だちと息を合わせて力を込めてがめをたたきつけることや「がめつき音頭」の難しい言い回しを覚えることは大変でしたが、どの子どもも元氣よく行えました。



地域の伝承「がめつき音頭」

ひまわり組(5歳児)

年長組から始めた太鼓。「蓮代寺太鼓」の他、3つの演目を発表しました。普段から「心をついに」を合言葉に取り組んでいます。子どもたちの太鼓演奏を録画し、皆で見た後によかった点や気づいた点を友だちと伝え合う活動も取り入れました。当日はいつも以上に素晴らしい演奏でした。



地域の伝承「蓮代寺太鼓 他」

楽しく食べてね！
一お話の世界を添えて

こども園では、子どもたちに食べる楽しみと喜び、そして園生活の充実感を感じてほしいと願い、園の農園で収穫した野菜をその日のうちに調理したり、季節や園行事に合わせてお弁当を作ったりしています。お弁当は園庭や園外先の公園に運び戸外でおいしく味わっています。またそれら以外にも、様々な趣向を凝らした給食やおやつを提供しています。

その中から子どもたちの好きなお話や絵本を基に作ったおやつを紹介や子どもたちが経験した活動を食につなげた取り組みの一部をご紹介します。



出版社：ごこま社 作：わかやま けん
『しろくまちゃんのほっとけーき』
未満児クラスに人気の絵本です。焼きたてのホットケーキがワゴンに乗って届きました。



『3匹のこぶた』

給食室でパンを焼いています。こぶたパンの他にも、あざらしやアンパンマンなどのパンが並び日もあります。



出版社：ポプラ社 作：せな けいこ
『おばけのてんぷら』
さつまいもの収穫後、揚げたてのてんぷらを味わいました。



出版社：ごこま社 作：ばば のぼる
『11びきのねこ ぶんくのなか』



『おむすびころりん』
農園で初めてお米が獲れました。まずは塩おむすびを味わい、別の日には色々な具材のおむすびが並びました。

発表会の劇遊び『11びきのねこ』が面白かったと劇の小道具の立札と共に「11びきのねこパン」が登場しました。子どもたちもねこ耳をつけて楽しいおやつになりました。